

## 愛知学院大学歯学部における教員の活動業績評価指針

令和2年4月1日制定

### (目的)

第1条 愛知学院大学歯学部（以下「歯学部」という。）は、次の各号に掲げる事項を目的として教員の活動状況について評価（以下「評価」という。）を実施する。

- (1) 教員の活動状況を点検・評価することによって、自己研鑽に努めることを促進する。
- (2) 評価結果を総合的に分析することによって、教員の活動の改善と向上に努める。
- (3) 評価結果を公表することによって、社会への周知と説明責任を果たす。

### (評価の基準)

第2条 歯学部長は、前条に定める目的に沿い、歯学部の目標及び専門分野の特徴等を考慮した「教員の評価の対象となる活動領域」を定め、これを歯学部の教員にあらかじめ公表する。

### (評価の対象)

第3条 評価の対象となる教員は、歯学部の専任教員とし、評価実施年度の4月1日に在職する者とする。ただし、評価実施年度から次期評価実施年度までに次の号に該当した場合は、評価対象外とすることができる。

- (1) 平成15年3月31日までに採用された者のうち、満68歳に達した場合
  - (2) 平成15年4月1日以降に採用された者のうち、満65歳に達した場合
- 2 学校法人愛知学院大学任期制教員規程に規定する任期制教員については、第5条第1項の項目に限り対象とする。

### (評価の領域及び評価の期間)

第4条 評価は、教育活動、研究活動、臨床活動、大学運営活動及び社会貢献活動の5領域とし、5年に1度、過去5年度分の教員個々の活動について行う。

- 2 前項の評価期間は、年度途中の採用者及び昇任者にあつては採用日の翌年度の4月1日を起点とする。

### (教員自己評価表及び評価報告書の作成)

第5条 教員は、前条に記載の5領域の活動状況について、1年毎に「教員自己評価表」及び「目標シート」を作成し、所属長により「歯学部教員活動業績の評価基準」に基づいた評価を受けその結果を歯学部長へ提出する。

- 2 教員は、5年毎に評価実施年度の前年度までの過去5年度分の実績の「業績報告書」、履歴書及び「教育研究業績書一覧」を作成し、歯学部長に提出する。なお、2回目以降の評価については、先回の「評価報告書」のコピーを添えて提出する。
- 3 教員は、その職務の実態等に応じ、5領域の活動に対する「重み」（各領域1～3までの3段階とし、5領域の合計を10とする。）について、自己の考えを「教員自己評価表」に記載する。

## (評価実施組織)

第6条 歯学部長は、適正な評価を行うために歯学部教員評価委員会（以下「評価委員会」という。）を置く。

- 2 評価委員会は、別に定める委員により構成し、主査1名、副査2名を互選により決定する。
- 3 被評価者ごとに委員長を置き、主査をもってこれに充てる。
- 4 評価委員会は、教員の評価に係る評価基準を参照し、教員より提出された過去5年度分の「教員自己評価表」及び「業績報告書」について、次の各号に掲げる事項を行う。
  - (1) 評価の実施に関する方針の決定及び調整
  - (2) 各領域の「重み」を考慮して、5領域の個別評価及び総合評価
  - (3) 「評価報告書原案」の作成及び歯学部長への提出
  - (4) 第7条第2項により評価結果に対する異議申し立てがあった場合の評価の再検討あるいは再評価

## (評価結果の通知)

第7条 歯学部長は、適切な方法によって「評価報告書」の結果を当該教員に通知する。

- 2 当該教員は、自己の評価結果に関して歯学部長に対し、異議を申し出ることができる。

## (評価結果の活用)

第8条 歯学部長は、優れた活動を行っている教員に対しては、その活動の一層の向上を促し、また、活動状況に問題のある教員に対しては、適切な指導及び助言等によって活動の改善を促す。

- 2 教員は、評価結果を自己の活動を充実させるために活用する。
- 3 歯学部長は、評価結果を歯学部の運営の改善に役立てる。

## (評価結果の公表)

第9条 評価結果の公表については、評価委員会が定める範囲及び方法により行う。

## 附 則

- 1 この指針は、令和2年4月1日から施行する。
- 2 歯学部専任教員の評価(審査)に関する内規は、本指針の施行をもって廃止する。  
 なお、この指針により最初に行う評価は、「歯学部専任教員の評価(審査)に関する内規」の審査期間対象期間の最終年度に実施し、審査対象期間の最終年が令和7年4月1日以降の場合は本指針の施行日から5年後とする。

ただし、経過措置として本指針施行日から5年経過までは、施行日から経過年度分の「教員自己評価表」及び「業績評価書」をもって評価することとする。

## 附 則

この指針は、令和3年2月19日をもって施行し、令和3年4月1日から適用する。

## 附 則

この指針は、令和4年3月24日をもって施行し、令和4年4月1日から適用する。

## 愛知学院大学歯学部教員評価委員会規程 第6条の評価委員会

職名	評価委員会の構成
主任教授	歯学部長、教務主任（基礎・臨床）、研究科長、研究科主任、基礎系主任教授1名、臨床系主任教授1名、その他必要であるときは歯学部長の指名する者
特殊診療科教授	歯学部長、教務主任（基礎・臨床）、研究科長、研究科主任、病院長、主任教授（当該）、基礎系主任教授1名、その他必要であるときは歯学部長の指名する者
准教授	歯学部長、教務主任（基礎・臨床）、研究科長、研究科主任、主任教授（当該）、その他必要であるときは歯学部長の指名する者
講師	歯学部長、教務主任（基礎・臨床）、研究科長、研究科主任、主任教授（当該）、その他必要であるときは歯学部長の指名する者
助教	歯学部長、教務主任（基礎・臨床）、主任教授（当該）、その他必要であるときは歯学部長の指名する者
助手	歯学部長、教務主任（基礎・臨床）、主任教授（当該）、その他必要であるときは歯学部長の指名する者

# 歯学部専任教員の活動業績評価の概要

## 教員個々人と所属長が行う評価「教員自己評価表」

評価項目のリストアップ（リストをチェックしていくようなイメージ）  
当該年度の評価と次年度の目標設定（3月～4月に提出）

対象時期：毎年度当初

対象者：専任教員

対象領域：①教育、②研究、③臨床、④社会貢献、⑤大学運営について

「教員自己評価表」と  
「目標シート」に入力

所属長に提出  
「歯学部教員の活動評  
価基準」を基に評価

評価結果の活用（面談）  
教員の諸活動の活性化と高度化につなげる

## 学部長が行う評価「評価報告書」

1年毎の業績評価を主な資料として評価  
「評価委員のための評価ガイドライン」に従い実施

対象時期：5年ごと

実施方法：過去5年分の「教員自己評価表（表紙のみ）」、「履歴書」、「業績報告書」及び「教育  
研究業績書一覧」を基にして「評価報告書」を作成

実施体制：教員評価委員会を置き総合評価を行う

教員評価委員会  
評価報告書原案の作成

教員自己評価表の表紙（過去5年分） 業績  
報告書、教育研究業績書一覧  
（2回目以降は前回の評価報告書の写しも）

学部長  
評価報告書原案の決定

必要に応じて  
教員から事情、意見等を聞く機  
会を設ける

評価報告書  
原案の通知

意見（意義）の  
申し立て

評価報告書の  
決定

## 歯学部教員活動業績の評価基準

講座名		職名		氏名	
-----	--	----	--	----	--

<b>1. 教育活動（13点）</b>
<b>1) 講義（3点）</b>
教授 ○ 5回以上 准教授 ○ 2回以上 講師 ○ 2回以上 助教 ○ 1回以上
<b>2) 演習・実習の指導（3点）</b>
○ 5回以上
<b>3) 研修・研究の指導（2点）</b>
○ 有り
<b>4) 入試、試験等（2点）</b>
○ 問題作成、採点、評価 有り（1点） ○ 試験監督 有り（1点）
<b>5) 自己研鑽活動（1点）</b>
○ 有り
<b>6) 教育支援（1点）</b>
○ 有り
<b>7) 自由記載（1点）</b>
○ 評価すべき事項有り

<b>2. 研究活動（13点）</b>
<b>1) 論文発表（4点）</b> ※掲載誌のIFの合計は5年毎の評価において考慮
教授 ○ 1st, 2nd, last, or corresponding author で5報以上／5年（3点）、 そのほか5報以上／5年あれば（1点） 准教授 ○ 1st, 2nd, last, or corresponding author で3報以上／5年（3点）、 そのほか3報以上／5年あれば（1点） 講師 ○ 1st, 2nd, last, or corresponding author で2報以上／5年（3点）、 そのほか2報以上／5年あれば（1点） 助教 ○ 1st, 2nd, last, or corresponding author で2報以上／5年（3点）、 そのほか2報以上／5年あれば（1点）
<b>2) 学会発表（2点）</b>
○ 発表者、座長2回以上（2点） or 発表者、座長1回（1点） or 学会のシンポジウム、特別講演、教育講演1回以上（2点）
<b>3) 研究費（3点）</b>
○ 獲得（2点）

<input type="radio"/> 1回以上の申請（1点）
<b>4) その他（3点）</b>
<input type="radio"/> 知的財産・特許の出願と登録 有り（1点）
<input type="radio"/> 受賞 有り（2点）
<b>5) 自由記載（1点）</b>
<input type="radio"/> 評価すべき事項有り

<b>3. 臨床活動（12点）</b>
<input type="radio"/> 所属長による評価
（1）目標への到達が不十分であり、大幅な改善が必要である（4点）
（2）目標にはある程度到達しているが、改善の余地がある（6点）
（3）目標に概ね到達しているが、改善の余地も若干ある（8点）
（4）目標に十分到達している（10点）
（5）目標以上である（12点）

<b>4. 大学運営活動（11点）</b>	
<b>1) 役職（2点）</b>	
<input type="radio"/> 有り	
<b>2) 大学各種委員会委員（3点）</b>	
<input type="radio"/> 委員長（2点）	
<input type="radio"/> 1委員以上（1点）	
<b>3) 学部内・病院内各種委員会委員（2点）</b>	
教授 <input type="radio"/> 委員長（2点） or 3委員以上（1点）	
准教授 <input type="radio"/> 委員長（2点） or 2委員以上（1点）	
講師 <input type="radio"/> 委員長（2点） or 1委員以上（1点）	
助教 <input type="radio"/> 委員長（2点） or 1委員以上（1点）	
<b>2) 講演会、セミナーへの参加（1点）</b>	
<input type="radio"/> 有り	
<b>3) 歯学部、病院におけるワーキンググループ、プロジェクトへの参加（1点）</b>	
<input type="radio"/> 有り	
<b>4) 自己研鑽（1点）</b>	
<input type="radio"/> 有り	
<b>5) 自由記載（1点）</b>	
<input type="radio"/> 評価すべき事項有り	

<b>5. 社会貢献活動（5点）</b>	
<b>1) 市民・地域住民・専門家等に対する教育活動（1点）</b>	
<input type="radio"/> 有り	
<b>2) 社会における知の創造・応用の実践（1点）</b>	
<input type="radio"/> 有り	

<b>3) 社会への専門知識の提供 (1点)</b>
<input type="radio"/> 有り
<b>4) その他の社会貢献 (1点)</b>
<input type="radio"/> 有り
<b>5) 自由記載 (1点)</b>
<input type="radio"/> 評価すべき事項有り

## 各活動の評価基準

## 1. 教育活動

	教授	准教授	講師	助教
S	要理由	要理由	要理由	要理由
A	11点以上	11点以上	11点以上	8点以上
B	10点以上	9点以上	9点以上	6点以上
C	10点未満	9点未満	9点未満	6点未満
D	要理由	要理由	要理由	要理由

## 2-1. 研究活動（基礎系）

	教授	准教授	講師	助教
S	要理由	要理由	要理由	要理由
A	9点以上	9点以上	9点以上	9点以上
B	5点以上	5点以上	5点以上	5点以上
C	5点未満	5点未満	5点未満	5点未満
D	要理由	要理由	要理由	要理由

## 2-2. 研究活動（臨床系）

	教授	准教授	講師	助教
S	要理由	要理由	要理由	要理由
A	7点以上	7点以上	7点以上	7点以上
B	5点以上	5点以上	5点以上	5点以上
C	5点未満	5点未満	5点未満	5点未満
D	要理由	要理由	要理由	要理由

## 3. 臨床活動

	教授	准教授	講師	助教
S	要理由	要理由	要理由	要理由
A	10点以上	10点以上	10点以上	10点以上
B	8点以上	8点以上	8点以上	8点以上
C	8点未満	8点未満	8点未満	8点未満
D	要理由	要理由	要理由	要理由



## 4. 大学運営活動

	教授	准教授	講師	助教
S	要理由	要理由	要理由	要理由
A	6点以上	4点以上	3点以上	3点以上
B	3点以上	2点以上	1点以上	1点以上
C	3点未満	2点未満	1点未満	1点未満
D	要理由	要理由	要理由	要理由

## 5. 社会貢献活動

	教授	准教授	講師	助教
S	要理由	要理由	要理由	要理由
A	3点以上	2点以上	2点以上	2点以上
B	1点以上	1点以上	1点以上	1点以上
C	1点未満	1点未満	1点未満	1点未満
D	要理由	要理由	要理由	要理由

# 評価報告書

(2019～2023 年度 活動業績)

講座名		職名		氏名	
-----	--	----	--	----	--

## 評価領域

1. 教育活動	評価	2019	2020	2021	2022	2023	5 年間
コメント							
2. 研究活動	評価	2019	2020	2021	2022	2023	5 年間
コメント							
3. 臨床活動	評価	2019	2020	2021	2022	2023	5 年間
コメント							
4. 大学運営活動	評価	2019	2020	2021	2022	2023	5 年間
コメント							
5. 社会貢献活動	評価	2019	2020	2021	2022	2023	5 年間
コメント							
総評	総合評価						
コメント							

主査： \_\_\_\_\_ (印)

副査： \_\_\_\_\_ (印)

# 教員自己評価表

2023年4月～2024年3月

講座名		職名		氏名		印
-----	--	----	--	----	--	---

	教育	研究	臨床	大学運営	社会貢献	合計	
重み							合計を10とする(各項目1以上)
点数							臨床のみ所属長が入力
評価							
自己評価							
所属長評価							
教員の平均点							講座の業績

出産・育児・介護等により教員業績評価の対象となる活動を中断した場合は、その期間を記入してください。

中断期間	～
------	---

所属長

氏名		印
----	--	---

教員自己評価表(研究活動) 重み

カテゴリー	項目	業績				備考	点数
		第一	責任	第二	左以外		
論文、著書等	原著論文	欧文	編	編	編	編	
		和文	編	編	編	編	
	総説	欧文	編	編	編	編	
		和文	編	編	編	編	
	著書	欧文	編	編	編	編	
		和文	編	編	編	編	
症例報告	欧文	編	編	編	編		
	和文	編	編	編	編		
学会発表	国際	筆頭		共同			
		招待講演		題		題	
		シンポジウム等		題		題	
		一般演題		題		題	
	国内	招待講演		題		題	
		シンポジウム等		題		題	
		一般演題		題		題	
		座長		題		題	
研究費	研究費の申請状況(代表のみ)	代表		分担			
		科研費	件	万円	/		
		その他の公的研究費	件	万円			
	民間助成金	件	万円				
	研究費の獲得状況	科研費	件	万円	件	万円	
		その他の公的研究費	件	万円	件	万円	
		民間助成金	件	万円	件	万円	
		企業等との共同研究・受託研究	件	万円	件	万円	
その他	受賞	学会		件	/		
		論文		件			
	特許	申請		件			
		取得		件			
自由記載欄	自己アピール						
合計							

自己評価	(5): 目標以上である (4): 目標に十分到達している (3): 目標に概ね到達しているが、改善の余地も若干ある (2): 目標にはある程度到達しているが、改善の余地がある (1): 目標への到達が不十分であり、大幅な改善が必要である	
所属長による評価	(5): 特に優れている (4): 優れている (3): 概ね良好である (2): 改善の余地がある (1): 改善を要する	

教員自己評価表(教育活動) 重み

カテゴリー		項目	備考	点数
講義等	講義	学部講義		
		大学院講義		
		教養、他学部、他学科の講義 (本学技工士専門学校を含む)		
	演習・実習の指導	基礎実習、臨床予備実習		
		BSL、選択制臨床実習		
		教養、他学部、他学科の実習		
		その他		
	研修・研究の指導	大学院生の研究指導		
		研究生の研究指導		
		その他		
入試・試験等	問題作成、採点、評価	入学試験(大学院)		
		入学試験(面接委員)		
		各科目の定期試験		
		CBT、国家試験		
		OSCE、ポストOSCE評価者		
		卒業試験、総合試験関連		
		学位審査(修士、博士)		
		その他の試験		
		試験監督等	主任	
	監督、医務室勤務			
	OSCE、ポストOSCE担当者			
	自己研鑽活動	教育改善	FD参加(受講者として)	
FD参加(講師として)				
ユニット責任者、コースディレクター等				
その他				
教育支援		担任		
		副担任		
		CSS		
		留学生支援・指導		
		部活動の顧問・部長		
その他	自由記載欄	自己アピール		
合計				

自己評価	(5): 目標以上である (4): 目標に十分到達している (3): 目標に概ね到達しているが、改善の余地も若干ある (2): 目標にはある程度到達しているが、改善の余地がある (1): 目標への到達が不十分であり、大幅な改善が必要である	
所属長による評価	(5): 特に優れている (4): 優れている (3): 概ね良好である (2): 改善の余地がある (1): 改善を要する	

教員自己評価表(臨床活動)

重み

カテゴリー	項目	備考
診療に関する活動状況	外来診療患者数	
	診療従事日数	
	紹介患者数	
	稼働額	
	術者としての手術数	
	助手あるいは指導者として関わった手術数	
	担当入院患者数	
	日当直日数、休暇中当番	
	病院広報活動	
	療養指導	
	時間外対応、緊急対応	
	カンファレンスを担当した症例数	
特色ある診療活動の企画・実施状況	高度先進医療等の実績	
	治験の実績件数	
	認定医、専門医、指導医の取得・維持	
	認定医、専門医、指導医の取得指導	
	診療能力向上のためのワークショップ等への参加	
その他診療に関わる活動状況	臨床研修医指導	
	大学院生、専攻生、臨床指導	
	診療能力向上のためのワークショップ等への参加	
	インシデント・アクシデントレポート提出	
その他	自由記載欄	

自己評価	(5): 目標以上である (4): 目標に十分到達している (3): 目標に概ね到達しているが、改善の余地も若干ある (2): 目標にはある程度到達しているが、改善の余地がある (1): 目標への到達が不十分であり、大幅な改善が必要である	
	(5): 目標以上である (4): 目標に十分到達している (3): 目標に概ね到達しているが、改善の余地も若干ある (2): 目標にはある程度到達しているが、改善の余地がある (1): 目標への到達が不十分であり、大幅な改善が必要である	

点数

歯学部教員活動業績の評価基準に基づき所属長が入力

教員自己評価表(社会貢献活動)

重み

カテゴリー	項目	件数	備考	点数
市民・地域住民・専門家等に対する教育活動	大学が実施する市民向け講座・シンポジウム・講演会等の実施、協力、大学・附属病院公開	件		
	他校での非常勤講師、大学院講義(セミナー)	件		
	地方公共団体/小中高等学校/医師会・歯科医師会/企業主催の講演会等での出張講演等	件		
	海外を含む外部からの研修生の受入・指導(短期)	件		
社会における知の創造・応用の実践	学会における役職、委員としての活動	件		
	学術誌の編集担当者	件		
	学術誌の査読	件		
	研究班の主任、分担・協力者、アドバイザーボード	件		
	学会・研究会・セミナー等の開催	件		
	診療ガイドラインの作成	件		
	ベンチャー起業等	件		
社会への専門知識の提供	国・地方自治体・国際機関・その他公的機関からの依頼による委員等、専門家・学識経験者としての協力、裁判の鑑定等	件		
	医療機関に対する診療指導、企業・団体に対するアドバイザー等の個別機関における社会貢献	件		
	科研費の審査等	件		
	専門家として新聞、テレビ等のメディアに取り上げられることによる情報発信	件		
	社会から寄せられる相談への専門家としての対応	件		
その他の社会貢献	国内外の診療ボランティア活動	件		
	研究業績としてはカウントされない公的媒体での一般向け情報発信(コラム執筆等)	件		
	ホームページ作成による情報発信	件		
その他	自由記載欄	自己アピール		
合計				

歯学部教員活動業績の評価基準に基づき所属長が入力

自己評価	(5): 目標以上である (4): 目標に十分到達している (3): 目標に概ね到達しているが、改善の余地も若干ある (2): 目標にはある程度到達しているが、改善の余地がある (1): 目標への到達が不十分であり、大幅な改善が必要である	
所属長による評価	(5): 特に優れている (4): 優れている (3): 概ね良好である (2): 改善の余地がある (1): 改善を要する	

教員自己評価表(大学運営活動)

重み

歯学部教員活動業績の評価基準に基づき所属長が入力

カテゴリー	項目	備考	点数
役職	歯学部における役職		
	歯学研究科、未来口腔医療研究センターにおける役職		
	病院における役職		
	所属講座内における役職		
委員会	大学各種委員会		
	歯学部・歯学研究科、他学部における委員会等		
	病院における委員会等		
講演会、セミナー等への出席状況	全員参加の講演会、セミナー等		
ワーキンググループ、プロジェクト等への参加	歯学部・病院におけるワーキンググループ、プロジェクト等への参加状況		
自己研鑽	管理運営に関与する集会、セミナー等への参加状況		
その他	自由記載欄	自己アピール	
合計			

自己評価	(5): 目標以上である (4): 目標に十分到達している (3): 目標に概ね到達しているが、改善の余地も若干ある (2): 目標にはある程度到達しているが、改善の余地がある (1): 目標への到達が不十分であり、大幅な改善が必要である	
所属長による評価	(5): 特に優れている (4): 優れている (3): 概ね良好である (2): 改善の余地がある (1): 改善を要する	



## 目標シート

対象期間 令和●年4月1日～令和●年3月31日

氏名	所属	職名
㊟		

領域	目標	達成方法	重み
	教育、研究については目標を1つ以上挙げる。臨床系教員にあつては、診療目標を1つ以上挙げる。	目標はどのような方法で達成しますか。数値等を用いる等、具体的に記入すること。	各項目1以上で合計を10とすること。
教育			
研究			
臨床			
大学運営			
社会貢献			

所属長： \_\_\_\_\_ ㊟

## 業績報告書

令和 年 月 日

氏名：

印

審査対象期間を振り返り「効果が上がっている事項（研究・教育・診療実績等）」について、記載してください。

「効果が上がっている事項」について、維持・発展させる方策を記載してください。

審査対象期間を振り返り「改善すべき事項（研究・教育・診療実績等）」について、記載してください。

「改善すべき事項」について、改善方策を記載してください。